



動きざかし
48才

日野市議会議員

西野まさひと

活動報告 NO.13



ハッキリ言います！市政にひとこと！

【ホームページ】<http://www.nishino1.com/> 【FAX】042-582-2866

西野まさひと友の会では平成20年3月議会における西野議員の一般質問の内容と今年度の予算についてご報告致します！

■平成20年度予算(一般会計約494.1億円/特別会計約445.8億円)が決定しました！■

本号のメニュー

- P1…一般質問薬物乱用防止について
- P2…予算の概要とポイント
- P3…後期高齢者医療制度・地球温暖化対策
- P4…友の会通信

企業の市外流出を危惧！



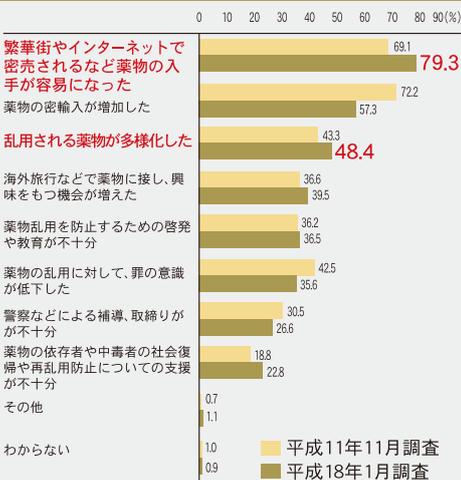
今議会では、私は企画総務委員会委員に選任されました。さて、今年度の一般会計予算は約494.1億円、特別会計は約445.8億円となりました。ここでは予算の歳入についてふれておきます。日野市の予算の主な歳入である市税は約300億円で前年比約1.1%減少しています。これは主に法人市民税の減少によるものです。私たちの日野市の特色は、豊かな自然と、歴史・文化の遺産を多く有すること、そしてもう一つ、優秀な大企業があり、またそれを支える世界に誇ることが出来る技術を有した中小企業が多数存在することです。しかしながら、今回の一般質問でも質問しましたが、優秀な企業が区画整理事業などに伴い市外流出の可能性のある事例が確認されています。法人市民税の減少は企業収益の出来不出来に左右されることが大きな要因と通常考えられますが、成長する優良企業の流出という未来への警鐘とも受け止めるべきではないでしょうか。街には多様性が必要です。住むだけの街がいかにかにやういか、公団が造った初期のニュータウンがすでに物語っています。日野市の区画整理事業はだいぶ進捗していますが、居住エリア・商業エリアと工業エリアが混在せず調和と共存し発展する方向をもう一步踏み込んで模索すべきではないかと思えます。

区分	平成20年度当初(億円)	平成19年度当初(億円)	増減率(%)
市税	295.2	298.4	-1.1
地方消費税	17.5	18.2	-4.0
国庫支出金	45.0	50.9	-11.5
都支支出金	49.7	49.1	+1.2
市債	29.7	32.6	-8.9

日野市議会議員 西野正人

世界の人々が訪れる日野の街づくり！

薬物犯罪が悪化している原因や理由



今回の議会では、薬物乱用防止、区画整理、水道事業の移管と三つの質問を行いました。ここでは青少年の薬物乱用防止についての質問をご報告します。民間ボランティア団体での薬物乱用防止の活動の経験から、「青少年による薬物犯罪の危険性をよりいっそう周知すべき」と、今回質問をしました。

近年、インターネットや携帯電話の普及から都市部で増加する薬物乱用に伴う犯罪に変化の兆しがあります。左のグラフは内閣府が行った聞き取り調査の結果ですが、薬物乱用の増加の原因として「インターネットや携帯電話による密売により青少年でも薬物を手に入しやすくなっている」と答えた人の割合が最も多く、平成十一年の調査時よりも10%以上増加しています。また、合成麻薬など新しい禁止薬物も増加しており「ファッション」性をアピールし軽い気持ちで薬物に誘い込もうとする傾向もみられます。多摩地域に属する日野市でも、薬物乱用は「対岸の火事」ではありません。教育の現場だけでなく、行政、地域家庭のなかでその危険性と現状を認識すべきです。

質問 4-1

青少年健全育成、薬物乱用防止について問う

薬物乱用の危険性の周知を！



今年度の主な事業

(西野 選抜)

■ 市立病院経営健全化 **6億9256万円**

医師・看護師の確保、科目的収益率の向上
救急科の新設、高度医療の充実



■ 後期高齢者医療制度の円滑な施行 **11億8980万円**

市における業務及び広域連合への負担金を予算計上

■ 団塊の世代活動への支援 **999万円**
～「生きがい」「働きがい」「地域がい」～

地域活動の支援事業、人材バンク事業
日野市イベント等運営事業・オープンセミナーなどの開催
「地域のしくみづくり事業」の実施

■ 国民被保険者いつまでも現役事業 **1億5049万円**
(国民健康保険特定健診、特定保健指導)

平成20年度より内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病予防のための健康審査及び保険指導の実施
健診実施率50%、検診結果により健康の保持に努める必要があると判定された方に対する保健指導実施率20%を目標

■ (仮称)市民の森ふれあいホール 着工に向けた取り組み **3億6526万円**

平成20年度より建設工事着工



■ 遊歩道などの整備 **690万円**
歩きたくなるまち日野整備事業

ウォーキングコースのコース及びサイン整備の実施

■ 日野宿通り周辺再生、整備計画の推進 **8940万円**
(間道の整備、日野用水上堰の開渠)

■ 学校校庭芝生化の推進 **4401万円**

平成20年度東光寺小でモデル的に実施



新年度予算は緊縮予算!



今年度の予算はひと言で言うところの緊縮予算です。これは、世界経済の動向(サブプライムローン)の問題、株安や原油をはじめ物価の高騰)や国政の不安定さなど様々な要因を考えた日野市の適切な判断と言えると思います。また、市債を8.9%減らし(P1参照)いざというときの備えを行うなど賢明な処置です。この背景には新たに始まった後期高齢者医療制度に伴う「しくみ」の変化や、自治体に対する財政指標の変化により市立病院の早期経営改善達成の必要性があります。

一般会計 **494.1億円**

款区分	平成20年度当初	増減率%
議会費	4億 331万円	-6.0
総務費	50億6985万円	-14.6
民生費	201億 160万円	-0.8
衛生費	47億 31万円	0.1
労働費	8439万円	-21.1
農業費	1億1996万円	19.1
商工費	4億2470万円	-3.4
土木費	44億 28万円	-5.1
消防費	20億5195万円	0.1
教育費	85億7659万円	-8.2
公債費	32億1470万円	-0.8
諸支出費	2億1782万円	0.4
予備費	3000万円	0.0

前年度比 **4.1%減**
20億円の減額

- 持続可能な財政運営
- 公共施設等の整備延伸
- 行財政改革の推進

前年度比 **13.4%減**
69億円の減額

- 新たな医療制度への対応
- 新たな財政指標への対応

特別会計 **445.8億円**

会計名	平成20年度当初	増減率%
国民健康保険	157億8291万円	2.2
土地区画整理事業	42億4688万円	10.7
下水道事業	55億 524万円	-3.6
受託水道事業	6億1490万円	-41.3
老人保健	10億5632万円	-89.5
介護保険	70億1688万円	-5.8
後期高齢者医療特別会計	24億4652万円	
病院事業	79億1098万円	-0.5



ハッキリ言って、ここがポイント!

敬老金の廃止——適財適所の施策!

必要な方に適切な医療や福祉を行うために日野市では、「敬老金」の廃止を決定しました。(これまでに市民に対して行われた意識調査でも行政評価が低く廃止が検討されていきました)日野市では、早くから市民の総合的な健康対策に取り組んでいます。すでに何度も耳にしていると思いますが「日野人四大運動」など、生活習慣病を克服し、健康で日々元気に暮らす生活習慣の励行に努めています。そして市民の健康維持のための健診の強化施策、団塊の世代が退職後再び社会参加するための施策

- 団塊の世代活動への支援
- 国民被保険者いつまでも現役事業
- (仮称)市民の森ふれあいホール
- 遊歩道などの整備

そして、健康維持の要としての市立病院の経営健全化!

馬場市政は時代に即応し、総合的に多角的に市民サービスの向上に施策を実行しています。



馬場市政の総合的健康促進対策を評価!

今年度から国が推進する健康と医療に関わる制度に変化があります。一つは後期高齢者医療制度(左上参照)、もう一つはメタボ対策を含めた健診制度です。これは、団塊の世代が高齢者となり、これまで世界に誇る日本の医療制度が爆発的に増大する医療費により破綻する危機を想定し、政府の打ち出した対応策です。



制度導入から保険料の設定に至る経緯

市民がご負担頂く保険料の設定までは、厚労省、都、日野市の間で様々な攻防がありました。その一端をご報告します。

全体を100として					
50		10		50	
基本形	現役世代からの支援金	保険料	国からの支援金	都	日野市
	40	30%	33.3	8.3	8.3
厚労省当初提示案	現役世代からの支援金	保険料	国からの支援金	都	日野市
	27.5	30%	27.5		

※所得水準によって国からの支援金は調整(□枠)される！
東京都の所得水準は、全国を「1」とすると「1.72」
厚労省は調整枠を100とすると30%しか出せない！と提示！

東京都市長会では高齢者の保険料負担が大きすぎると厚労省に陳情！

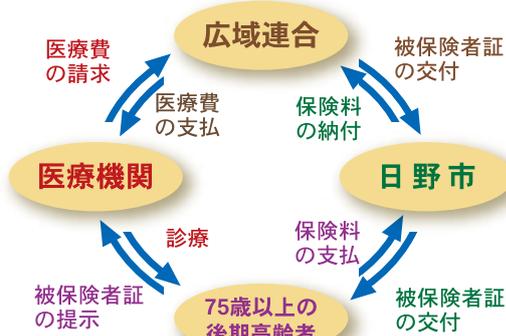
調整枠を**58%**まで獲得！

調整後					
58%		29.8		50	
基本形	現役世代からの支援金	保険料	国からの支援金	都	日野市
	29.8	58%	29.8		

さらに！日野市ではさらに追加負担1.3億円を決定！

これまでの国保(年額88,000円)とほぼ同額(年額90,000円)に！

後期高齢者医療制度組織図



広域連合とは…

- この制度の運営主体で都道府県単位で設置
- 日野市の場合は東京都62市区町村で構成
- 対象者は東京都で113万人 日野市で1.5万人

後期高齢者医療制度導入にさいし、日野市は関係各所と協議を重ね、これまでと同程度の保険料を実現しました。

ポイント解説

馬場市政は頑張りました！
後期高齢者医療制度導入

東光寺小校庭芝生化



この校庭が緑の芝生に！

地球温暖化対策の一環として東京都の推進事業により、今年度に東光寺小学校にてモデル的に校庭の芝生化を行います。芝生化の規模は東京都内で最大となります。

日野用水上堰の開渠



予想図

日野駅から川崎街道方向への一方通行とする予定です



現状

日野市は湧水を守り、用水を自然に近い形態で保全・改修します。今年度は日野本町二丁目地内、大昌寺の北側に位置する今までふた掛けされていた「日野用水上堰」の開渠を西側から着手します。



予想図

道路幅の安全確保を前提に、可能な範囲で用水の親水性を高めます。

ポイント解説

地球温暖化対策
—ふだん着でCO₂を減らそう—

幹線道路整備・区画整理事業・下水道整備等が進み、生活道路への通り抜け車両の流入が減少し、生活排水の用水への垂れ流しもだいぶ減少してきました。日野市においてもようやく魅力的な街づくりが行える環境が整ってきました。本年度行われる環境に配慮した施策の一部を紹介いたします。

ハッキリ言って、ここがポイント！

元来日野市は豊かな水に恵まれた地域です。そのおかげで豊かな農産物に恵まれ、工業も発展してきました。その後急激に人口が増加し、生活排水が容赦無く用水に流れ込みました。近年ようやく基盤整備が整い、再び清流を取り戻す環境と機運が高まってきました。今年度から日野市は、豊富な用水を年間通水し、自然に近い形で保全し、さらに踏み込んで良好な緑地の取得と保全(日野緑地・百草緑地)を行います。そして、日野市の本来持っていた緑豊かで魅力的な街づくりを進めるべく景観条例の制定をめざします。

持続可能な循環型社会の青写真 景観計画の策定がスタート！

日野市では、独自に農業基本条例を制定し、減少し続ける日野市の農地の存続を模索して来ましたが、現在、国政の場でも近郊都市の農地を残そうと議論が立ち上がっています(P4下段参照)。「こみゼロ運動」も可燃ごみのおよそ半分を占める生ごみを堆肥とし、出来る限り土に返し農地に還元する「循環のしくみ」を創ろうとしています。また、市内の農地で生産された農産物を自校方式の給食で提供し子供たちに食育を行っています。

生「こみ」堆肥—農地—作物—給食… 「循環のしくみ」づくり

近年の異常気象や、マスゴミを通じて見聞きする地球温暖化の問題は、今や市民一人ひとりが強く関心を持つ問題となりました。個人では出来ることが限られても、自治体単位ならば多くのことを解決し実現して行くことが可能です。日野市では早くから「こみゼロ運動」など全国に先駆けて有料ごみ袋を導入し環境配慮の施策を市民参画のなかで展開してまいりました。

持続可能な循環型社会を目指して！

ちよとそこまで
ひの散歩

第1話
「薬物はダメ！」



先日はご多忙のところ賀詞交歓会にご参加くださいまして誠にありがとうございました。先行き不透明な政局のなか、地方自治体の担う役割は年々大きくなっています。お寄せいただいた期待に応え、「ふるさと日野」を愛する心と誇りを胸に、「世界の人々が訪れる日野の街づくり」をめざし本年も邁進してまいります。

日野市議会議員 西野正人



一月十九日、日野市商会館にて西野まさひと友の会主催の「賀詞交歓会」が多数の参加者のもと盛大に行われました。

小川代議士、馬場市長ら来賓の祝辞を受け、市議会任期の折り返しを迎えた西野正人議員が本年の抱負を熱く語りました。

H20.1.19
「賀詞交歓会」が行われました！
多くのご参加誠にありがとうございます！



■手嶋精一郎プロフィール

- 昭和11年7月11日生まれ
- 日野市落川在住
- 日野市議会自民クラブ所属
- 平成10年3月9日～現在
日野市議会議員現在3期目
- 主な経歴
平成10年3月23日～平成12年3月7日
行財政改革推進特別委員会委員長
平成16年3月4日～平成18年3月8日
議会運営委員会委員長
平成16年3月4日～平成18年3月8日
農業委員会委員
平成18年3月13日～平成20年2月27日
監査委員



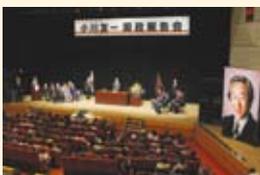
平成20年第一回市議会定例会で手嶋精一郎議員(自民クラブ)が第24代日野市議会議長に選出されました。

H20.2.28
手嶋精一郎市議会議員が議長に就任しました！
日野市議会自民クラブから手嶋議長誕生！

満場の参加者の前で小川友一代議士は、日野市議会議員当時に革新市政下で財政破綻寸前の市政を改革すべく同じこの会場で市政報告会を行ったことを思い返しながらい日野市の発展の様子をかみしめ「いかに政治がリーダーシップを発揮することが大切か」を熱く語りました。

また、自らが会長を務める都市農政議連の活動を紹介し、この10年で近郊都市では40%の農地(東京ドーム2000個分)が失われた事例を挙げ、国策として食糧自給率を上げるとともに、地産地消の循環型社会への回帰の必要性をうたえました。

そして、道路特定財源にもふれ、すでに今年度の日野市の予算にこの財源から17億円の予算が組まれており、20号バイパスの延伸や区画整理事業に大きな影響を与えてしまうこと、期限ぎりぎりに何の予算措置もとらずに政争の具とする民主党の施策に釘を刺しました。



三月十五日、日野市民会館大ホールにて「小川友一代議士報告会」が行われました。第一部が「国政報告会」、第二部に「三沢あけみ歌謡ショー」が行われました。

第一部では、町村官房長官がかけつけ、政局の近況と小川代議士に熱烈な応援メッセージを語って行かれました。

H20.3.15
小川友一代議士報告会が行われました！
町村官房長官応援に！
議員謝礼